

## 平成 26 年度 ショートトラック競技会連絡メモ

2014 年 10 月 10 日

### 【オフィシャルからの連絡事項】

1. 今年度より、違反内容のレフェリー判断（結果）はアナウンサーの通告を最終とし、コーチへのアシスタントレフェリーからの通告は行わない。
2. 各レースの開始・終了はレフェリーによる 2 回の短い笛によってコントロールされる。周回遅れなどの選手に対し、レフェリー判断でレースを終了（この場合も 2 回の短い笛）させることがある。その場合、当該選手はフィニッシュを認められるが「no time」として扱われる。
3. 選手はヒートボックスから氷上に出て、ヒートボックスに戻るまで安全具等はずさないこと。※レフェリーの終了の笛から 4 5 秒以内に氷上から離れるようにする。
4. 選手はスターターによる 1 回の長い笛から 1 0 秒以内にスタートラインに集まること。極端に集合に遅れた選手については **Warning** を与える。またスタート姿勢をとるのが遅い選手に対しても **Warning** を与える。スタート姿勢をとった段階でブレード先端がラインに触れている、もしくはラインを超えている場合、不正スタートとなる（Ready 時に触れていても、スタート姿勢の段階で触れていなければ可）。
5. 1 レースで許容される不正スタートが 2 回から 1 回に変更された。レースにおいて、スケーターが不正スタートを犯した場合、スターターからスケーター全員に「これ以降の不正スタート・**Warning** はペナルティになります」と宣告される。
6. ペナルティに至る **Warning** と不正スタートの組み合わせは以下の通り
  - 同一個人による 2 回の **Warning(Warning +Warning)**
  - 同一個人による **Warning** と（その後の）不正スタート
  - 同一個人による 2 回の不正スタート（例：フライング+ラインタッチなど）
  - レースの不正スタート+（その後の）任意の個人の **Warning**
  - レースの不正スタート+（その後の）任意の個人の不正スタート
7. スタート時の両足着氷について、違反行為としての適用は 2015 年 7 月 1 日より開始。ブレードをたてることで生じる氷の損傷を軽減し、それによる怪我や補修のための時間ロスを避けるため制定されたが、今シーズンにおいてはスターターから特に注意などを行わない。

8. 今シーズンから選手権では、得点方式が34点から始まる決勝ポイント方式となった。  
B決勝を500m、1000m、1500m（スーパーファイナルは除く）で行う。

#### 決勝ポイントの付け方

500m、1000m	1500m
<u>A決勝</u>	<u>A決勝</u>
- 34点	- 34点
- 21点	- 21点
- 13点	- 13点
- 8点	- 8点
<u>B決勝</u>	- 5点
- 5点	- 3点
- 3点	<u>B決勝</u>
- 2点	- 2点
- 1点	- 1点

#### ペナルティーがあった場合

500m、1000m	1500m
<u>A決勝</u>	<u>A決勝</u>
- 34点	- 34点
- 21点	- 21点
- 13点	- 13点
-Penalty → 5点	- 8点
<u>B決勝</u>	- 5点
- 5点	-Penalty → 2点
- 3点	<u>B決勝</u>
- 2点	- 2点
-Penalty → 0点	-Penalty → 0点

【その他連絡事項】